

お城の風景

石川大策 (春秋会)

1. はじめに

私は、子どもの頃から歴史が好きで、特に、お城めぐりを趣味としています。立派な天守や御殿があるようなお城も好きですが、建物がほとんどないようなお城も、好んで訪れています。今回は、私のお気に入りのお城を、いくつかご紹介いたします。

2. 竹田城 (兵庫県朝来市)



竹田城は、「天空の城」、「日本のマチュピチュ」等のキャッチコピーや、TVCM等で一時期有名になりましたので、ご存知の方も多いのではないかと思えます。

竹田城は、お城の位置する山の麓が霧に覆われる「雲海」と呼ばれる現象が生じた際には、お城が雲の上に浮かび上がっているように見え、特に絶景になることで知られています。

私自身は雲海発生時の竹田城を見たことがなく、掲載写真も「単に曇っているとき」に撮影したものです。それでも十分絶景でしたが…。雲海を見るためにも、いつか再訪したいお城です。

3. 甘崎城 (愛媛県今治市)



甘崎城は、愛媛県今治市に属する大三島の東の海上に位置する、古城島という無人島の全域を城域としたお城です。このお城は、基本的には自前の船でもない限り訪れることは不可能なのですが、春から夏にかけての大潮の日のみ、干潮時の数時間だけ大三島と陸続きになる「海割れ」と呼ばれる現象が起き、その際には徒歩で訪れることができます。

往時の甘崎城は、海中から立ち上がるように築かれた石垣に囲まれていたそうです。今でも、甘崎城の南側では、掲載写真のように、貝のびっしり付着した石垣を見ることができます。

4. 金田城 (長崎県対馬市)



古代のお城も見てください。金田城は、今回ご紹介するお城の中でも特に古い時代に築かれたお城です。663年に朝鮮半島で起こった大きな戦い（白村江の戦い）での日本の敗戦後、防衛態勢を固めるために築かれたお城の一つとされています。

写真にも表れている通り、長大な城壁が延々と連っており、この城壁が一つの山の広範囲を囲んでいます。

朝鮮半島からの危機に備えて対馬に築かれたお城ですから、立地からしてまさに最前線のお城であり、当時の人々の心境を想像しながら城内を歩くのも楽しいかと思えます。

5. 高根城（静岡県浜松市）



高根城は、静岡県浜松市の北部に位置するお城です。武田信玄が山梨・長野側から静岡に進出してきた際にも利用したお城とされています。2017年の大河ドラマ「おんな城主直虎」のロケ地として使用されていたので、掲載写真に見覚えのある方もいらっしゃるかもしれません。

多くの方が「お城」と聞いてイメージするであろう、天守や高石垣などは、高根城にはありません。その代わりに、簡易な櫓、漆喰の塗られていない土塀、木の柵、土を深く掘っただけで水の張られていない堀等を備えています。（ただし、現在見学できる櫓、土塀、柵等は復元されたものです。）

実は、戦国時代のお城のほとんどは、高根城のようなシンプルな姿をしていたと考えられています。戦が頻発していた時代には、立派だけれども大工事が必要なお城よりも、身近な資材で比較的簡単に築けるお城のほうが、需要があったのでしょね。高根城は、そんな戦国時代の実戦的なお城の姿を知ることができるお城です。

6. 山中城（静岡県三島市）



山中城は、小田原を拠点とした後北条氏によって、箱根の山中において東海道を封鎖するように築かされたお城です。高根城と同様に、天守や高石垣などはないお城になります。

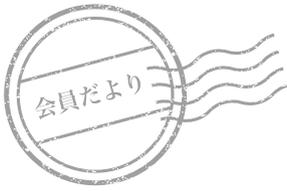
山中城には、堀底が土塁で仕切られている、「障子堀」という特徴的な堀を有しています。この堀は、堀底に落ちた敵の動きを土塁によって制限し、容易に狙い撃てるようにするためのものであると言われています。遠くには富士山も見えて、景観もとてもよい場所です。

そんな山中城ですが、豊臣秀吉による小田原征伐の際、秀吉の大軍の前に一日持たずに落城してしまった悲劇のお城でもあります。現在の城址公園の近くにある宗閑寺には、この山中城での戦いの際に命を落とした武将達のお墓もありますので、山中城を訪れる機会のある方は、是非立ち寄ってみてください。

8. おわりに

今回ご紹介したどのお城も、それぞれ独自の防衛上の工夫がされており、昔の人の必死さが伝わってきて、大変興味深いです。

自分が恵まれた時代に生まれたことを感謝しつつ、昔の人に負けない位知恵を絞って、良い仕事をしていきたいと思えます。



将棋自戦記

合 田 幸 平 (春秋会)

1. はじめに

子供の頃に父親に教わって以来、ゆったりやらなかつたりしている趣味が将棋です。とはいえ、ある程度きちんとした勉強をしたのは社会人になってから。

最近インターネットを介して容易に対戦相手が見つかるようになり、手軽に楽しめるようになっていきます。せっかくなので、「将棋ウォーズ」の対局の自戦記を書いてみました。

2. 自戦記

対局は10分切れ負けのルールで行われたものです。先手が私(初段)、後手が見知らぬ二段の方です。

初手から、▲7六歩△3四歩▲6六歩△3五歩▲6八玉△3二飛▲3八飛。

相手の戦法は早石田と呼ばれる速攻戦法。ハマると辛いので、こちらも飛車を3筋に回った袖飛車で対抗しました。これで相手の速攻はだいたい止まると思います。

相手からの速攻が来なくなったので、ここからは陣形整備で互いに守りを固めることになりました。

以下、△6二玉▲5八金右△7二玉▲7八玉△8二玉▲9六歩△7二銀▲9五歩△5二金左▲8六歩△6四歩▲8七玉△6三金▲7八銀△7四歩▲6七金△8四歩▲5六歩△8三銀▲7七桂△7二金▲7九角△7三桂 (図1)。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲						銀	桂	▲	一 ▲
	王	▲				飛	角		二 ▲
	▲	銀	桂	▲	歩	歩	▲	▲	三 ▲
		▲	▲						四 ▲
	歩					▲			五 ▲
		歩	歩	歩	歩				六 ▲
		玉	桂	金		歩	歩	歩	七 ▲
			銀				飛		八 ▲
	香	角	金			銀	桂	香	九 ▲

図1

先手の袖飛車 天守閣美濃 VS 後手の三間飛車 銀冠 となりました。▲9五歩まで進出させている点でポイントを取っています。▲9六歩に対して△9四歩と

されていると、後々9三玉と逃げられるスペース(銀冠の小部屋と言われる)を作られてしまいます。先手は端に手を使って中央では2手損しているので、先手から攻めるのが難しくなっています。

互いに守りは固めたので、ここからじりじりと戦いになっていきます。

図1から、▲4六歩△4二銀▲4八銀△5四歩▲4七銀△5五歩▲同歩△同角▲5八飛△5四歩▲5六銀△2二角▲4五銀 (図2)。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
△	▲						桂	▲	一 ▲
		王	▲			銀	▲		二 ▲
	▲	銀	桂	▲	歩	▲	▲		三 ▲
		▲	▲	▲					四 ▲
	歩				銀	▲			五 ▲
		歩	歩	歩	歩				六 ▲
		玉	桂	金			歩	歩	七 ▲
			銀		飛				八 ▲
	香		角	金			桂	香	九 ▲

図2

相手から歩をぶつけてきた5筋に飛車を回り込んでカウンター気味に銀を進出。次に▲5四銀から攻める狙いでした。

しかしながらこれはミス。△5五歩とされると銀が動けなくなり、その後△4四歩で銀が助かりません(銀挟みという形)。

ここではそれに相手も気づかなかったようで助かりました。アマチュアの将棋は得てしてこんなものです。

図2から、△5三銀▲3八飛△4四歩▲5六銀△3四飛▲4五歩△同歩▲同銀△2四飛▲2八飛△6五歩▲同歩△7五歩▲同歩△7四歩▲同歩△同金▲3五角。

角が自陣からいい位置に飛び出しながら飛銀取りに。まだまだ互角でしょうが、主導権を握って戦えそうと思えました。

ここから、△6二銀▲2四角△同歩▲4二飛 (図3)。

相手陣に飛車を打ち込んでしばらくは攻め込めそうと思えました。しかし、ここから△7七角成▲同

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲	▲						▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

図3

金△3三角▲4一飛成△7五桂とされると厳しかったようです。角桂だけでクズされるとは考えていませんでした。

実戦はここから、△3三角▲4一飛成△3九角▲5八飛△8五歩▲同歩△8六歩▲同玉△7五角成▲8七玉△6五桂▲7六歩△8六歩▲8八玉△7七桂成▲同金△同角成▲同玉△6六金（図4）。

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲	▲				▲		▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

図4

歩を上手く使われて一気に攻められました。すぐに負けることはないでしょうが、反撃のチャンスを待つことになりそうです。ただ、図4では▲6八玉と逃げるべきだったようです。逃げ間違えて一気に不利に。

図4から、▲8八玉△7六馬▲4六角△6四歩▲7五歩。

攻防に効くことを期待して▲4六角を打ちました。▲7五歩に対して、△同馬ならこちらへの攻めが遅れ、△同金なら▲6四角△7三歩▲7五角と金を取って反撃のチャンスが作れると考えました。しかし無視されて構わず攻められます。

ここから、△8七歩成▲同銀△7七金▲7九玉△8七馬▲7八金（図5）。

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲	▲				▲		▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

図5

ここで△同馬と取られると、▲同飛△6七桂▲8九玉△8七銀と押さえられて負けていたようです。

図5から、△同金▲同飛△6七金（図6）。

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲	▲				▲		▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

図6

これも押さえられてピンチのようですが、7八飛が通っていることで、チャンスが巡ってきました

図6から、▲8一金△7三玉▲7四歩△同銀▲8四金△6三玉▲7四金（図7）、まで105手で先手勝ち。最後は運良く逆転することができました。

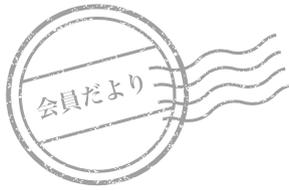
プロですら将棋は逆転のゲームと言うくらいです。有利を勝ちに結びつけること、不利でも最後まで粘ることが大切だと実感できました。

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

図7

3. おわりに

ところで、最近はインターネット上等でプロが指した将棋の棋譜の無断利用が問題になっています。このようなアマチュアが指した棋譜はともかく、プロが指した棋譜は主催者が多額のお金を払って得られるものです。棋譜には著作権等はないと考えられており、法的な知的財産権が明確に認められているわけではないでしょうが、何らかの権利が認められるべきものだと考えられます。このような権利がどのように認められていくのかも、個人的に気になるところではあります。



虎ノ門便り

中 村 聡 (稲門弁理士クラブ)

1. 概観

虎ノ門は、特許庁や弁理士会館のある霞が関に隣接し、また多くの特許事務所があることから、私たちにとっては親しみのある街ではないでしょうか。街を歩けば頻繁に同業者に遭遇する、私たちにとっての「業界」の街ともいえますが、近年の再開発や長引くコロナ禍で、街の景色も大きく変わりました。

2. 街並

虎ノ門は桜田通り沿いの街で、北から虎ノ門一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目と続きます。古くは江戸城の城門「虎ノ門」のあった地であり、武家地・寺社地が多かった名残で、愛宕山周辺にはお寺が並ぶ一画もあります。基本的には中小規模のビルが立ち並ぶ落ち着いたオフィス街ですが、近年の再開発で華やかな一画も生まれました。再開発は続いており、工事関係者の姿も多く見られます。

3. 交通

- ・地下鉄銀座線 虎ノ門駅…街の北側の外堀通り地下にあります。日本最古の地下鉄路線でもあり、歴史を感じさせます。古い地下鉄なので浅く掘られており、地上から降りるとすぐにホームに着いてしまいます。
- ・地下鉄日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅…街の北側の桜田通り地下に、2020年6月に新しく開業した駅です。少し離れていますが、銀座線虎ノ門駅と乗換駅となっており、連絡地下通路で繋がっています。ただし、現時点ではあくまで暫定開業なので、霞ヶ関駅方面（北行）に乗るためには一度地上に出る必要があります。
- ・地下鉄日比谷線 神谷町駅…街の南側の桜田通り

地下にあります。日比谷線開業時からの駅であり、オフィス街に囲まれていることから、単独駅ながらも多くの方に利用されています。

- ・都バス…渋谷と新橋を結ぶ都01系統バスが街の北側の外堀通りを走っています。数ある都バスの中でも、都01を冠するだけあって、利用者数の特に多い路線であり、運行本数も多くなっています。赤坂アークヒルズや六本木方面に行く際にはとても便利です。
 - ・ちいばす…余り知られていませんが、港区が運行しているコミュニティバスです。本数は30分に1本程度、利用者も少なめですが、誰でも利用できます。芝ルートは新橋から虎ノ門経由で田町駅まで、麻布東ルートは六本木から神谷町経由で御成門まで、複雑なルートを走っています。
 - ・東京BRT…臨海地区（晴海・勝どき）と都心（新橋・虎ノ門）を結ぶ新交通です。現時点ではプレ運行ですが、計画されている本格運行では豊洲方面、有明方面等複数のルートが追加される予定です。
- ※リムジンバス…以前は虎ノ門ヒルズから羽田空港までリムジンバスが走っていましたが、コロナ禍の影響で全便運休中です。早期の再開が待たれます。

4. 名所旧跡

- ・虎ノ門金刀比羅宮…古くは讃岐丸亀藩上屋敷内に鎮座されていたのですが、今は境内に虎ノ門琴平タワーが建ち、高層ビルと一体化した都会らしい佇まいです。お昼にはキッチンカーが立ち並ぶ憩いの場となります。
- ・愛宕神社…近隣になりますが、自然の山（愛宕山）の上の神社です。有名な出世の石段は愛宕下通りに面した東向きの石段ですが、迂回路（女坂）も

あります。西側には細い階段が、南側にはエレベーターと階段があります。北側には自動車の走れる道路（愛宕新坂）がありますが、これは途中で虎ノ門ヒルズレジデンシャルタワーのペデストリアンデッキと繋がっています。なお、愛宕山には正真正銘の山岳トンネル（愛宕トンネル）が東西を貫いています。

- ・新虎通り…こちらも近隣になりますが、とても開放感のある大通りです。通過交通は地下の環二通りに流れるので、交通量は少なくゆったりとした雰囲気流れています。周囲を含めた開発はこれからといった感じですが、少しずつお店が増えて来ました。いつか東京の新名所となることと思います。
- ・栄閑院…愛宕神社の西側の寺町にあり、蘭学者杉田玄白のお墓があるそうです。

5. 教育機関

- ・KIT虎ノ門大学院…金沢工業大学が開設した社会人向け大学院であり、イノベーションマネジメント研究科にMBAプログラムと知的財産マネジメントプログラムが設置されています。このうち知的財産マネジメントプログラムには多くの知財関係者が教員として、また学生として携わっておられます。

6. 再開発地区

- ・東京虎ノ門グローバルスクエア…地下鉄銀座線の虎ノ門駅南側の一画にあります（2020年7月竣工）。虎ノ門駅と一体化されており、駅施設が広く綺麗になりました。地下駅前広場は、虎ノ門ヒルズ駅への連絡地下通路とつながっています。以前は朝夕ラッシュ時には地上出入口に行列ができていましたが、現在は解消しました。施設内店舗等は比較的少ないものの、街の入り口のような存在です。
- ・虎ノ門ヒルズ…環状2号線の上に建つ森タワー（2014年5月竣工）を中心とした複合エリアであり、虎ノ門の再開発の象徴的存在となっています。森タワーの登場によって街の雰囲気はガラッ

と変わり、若い人の姿が随分増えました。地下鉄とは連絡地下通路で繋がっています。森タワーの北側にはビジネスタワー（2020年1月竣工）が、森タワーの南側にはレジデンシャルタワー（2022年1月竣工）が、それぞれ建ちました。また森タワーの西側にはステーションタワーが建設中です。これらは全て2階のペデストリアンデッキで繋がっていますので、移動はとても便利です。将来的にはさらに周辺地区に再開発が進むと思われれます。

- ・虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業…東京虎ノ門グローバルスクエアの東隣の地区になります（2023年7月着工、2026年10月竣工予定。）。現在は古いビルの取壊し中です。オフィスや商業施設等に加えて、虎ノ門駅の地下駅前広場や地上駅前広場も整備予定です。
- ・東京ワールドゲート…地下鉄日比谷線神谷町駅の北西側の一画にあります（2020年3月竣工）。オフィス、商業施設、ホテル、住宅等からなる複合施設です。地下鉄神谷町駅とは直結しており、周囲を開放的な緑地に囲まれています。
- ・虎ノ門・麻布台地区再開発A街区…地下鉄日比谷線神谷町駅の南西側に広がる大型再開発エリアです（2023年竣工予定。）。少し前までは、谷沿いに古い住宅が立ち並ぶ昭和の景色が広がっていましたが、国内有数規模の複合施設が整備される予定です。

※霞が関コモンゲート…地下鉄銀座線の虎ノ門駅の北西側の一画にあります。住所としては千代田区霞が関になりますが、虎ノ門駅から特許庁や弁理士会館に行く途中にあるので、私たちにとっては最も親しみのあるエリアといえます。

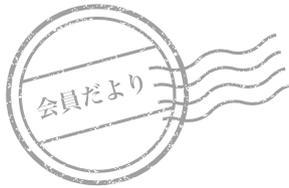
7. 和洋菓子店

古くからある街だからでしょうか、またはビジネスの需要があるからでしょうか、街には和菓子屋さんが目につきます。一方で、再開発エリアにはお洒落な洋菓子店が入っています。ちょっとした手土産を探すのに不自由はしないと思います。

8. 飲食店街

かつては典型的なオフィス街の飲食店街が広がり、仕事帰りの会社員等で大変賑やかでした。TV局に近い場合、ロケをしているのも見かけました。そんな街もコロナ禍で大きなダメージを受けており、櫛の歯が欠けたように空き店舗が目立ちます。特に今年に入ってから数々の名店が閉店されました。さらに小規模店舗がひしめき合っていた虎ノ門駅の南東の一角は、「虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業」として、29階建てのビルが建つ再開発計画が進められており、多くのお店が閉店を余儀なくされました。一方で新しくオープンするお店もあります。変わりゆく街ですが、これからも楽しみます。

以上



ゲームアーカイブ

松田 真 (稲門弁理士クラブ)

ゲームは我が国の貴重な文化資産であり、出版産業にもほぼ匹敵するわが国が得意なエンタメ産業ともいえる。日々リリースされる新しいゲームが業界の屋台骨であることには疑いがない。その一方で、これまでに生み出されたゲームが散逸の危機にある。そこで、より多くのゲームを、例えば150年後の子孫までプレイ可能な状態で残すことを目的とし、種々の検討を行っている。……と、それっぽく入るのもよいが、この場はもっと身の程に応じて書く方がよいだろう。

私は物心つく頃からのゲーマーだ。最初にプレイしたのはエポック社の「カセットビジョン」。ファミコンソフト「ドラゴンクエスト」は、当時の友達に借りパクされたまま、未だに返してもらえていない。ハドソンのシューティングゲーム「スターソルジャー」は、キャラバンという全国大会が昔行われていた。高橋名人の16連射が一世を風靡した時代のことである。その地区予選で、デライラの左右の目を同時に破壊できずに予選落ちしたりもした。間の描写は割愛するが、その後、学生時代、社会人となっても、親になっても未だにゲームをやっている。嫁も2人の子供もゲームが好きで、4人家族に、ニンテンドースイッチが4台(1人1台)ある。プレステ4は2台、プレステ5は1台所有している。それ以前のハードもあれこれ持っている。

上記のような経歴から自然な流れとして、「ゲームが散逸してしまうのはもったいない」と思うし、クラシックゲームを「ひ孫とか玄孫とかがプレイしてくれたら面白い」と思う。

そこから、ピョンと話が飛んでしまうのだが、「寄託部」という部活を始めた。

寄託部とは、国立国会図書館(以下、NDL)に新品未開封のゲームを趣味で寄贈する部活である。「寄贈部」より「寄託部」の方が、ゴロがよいのと、帰宅部っぽくて脱力感がいいのでそちらの名前にした。

コンシューマゲームだけで、優に2万を超えるゲームが発売されており、これにスマホアプリ、PCゲーム、UGCや同人で作られたゲーム等も含めると、凄いタイトル数になる。一方、NDLが所蔵するゲームの本数はまだ1万タイトルに満たない。ゲームが網羅的に保存されているとは言い難い状況にある。

国会図書館法25条には納本制度が規定されていて、2000年からはパッケージ化されたゲーム(パッケージ系電子出版物)も法定納本の対象となっている。つまり昨今のゲーム会社は、パッケージとしてリリースしたゲームをNDLに納める義務がある。違反は過料だが、まだ過料が課されたゲーム会社は存在しない。

2000年から後については、ゲーム会社からの納本で、ゲームを子孫に繋いでもらえるとして、1999年より前はどうすればいい? 学生時代に、アニメ「異世界おじさん」よろしくやりこんだセガサターンとかは?

コレクターの中には10万本を超えるゲームを所有している方々(ゲームアーカイブの先輩方)がいらっしやる。そこから、ダブったゲームなどをNDLに寄贈していただくとかは……えっ?! NDLは新品未開封しか寄贈を受け付けないんですか? そ、そうですか……。とほほ。

どうしようこれ。仕組みとしてどう解決する? はっ、そうか。まずは趣味でやってしまえばいいじゃないか。

例えば、スキューバダイビングで10万円かけて機器を買った人に、「その10万円、どこから出てきたんですか?」とか「予算はどうするんですか?」とか言い出す人はいないだろう。だって趣味なんだから。

じゃあ、寄託が趣味ならどうだろう。新品未開封ゲームを例えば10万円分ポケットマネーで買って、自分で遊ばずにそのままNDLに寄託。一見ヘンな行為だけど、「その10万円、どこから出てきたんです

か？」とか「予算はどうするんですか？」とか言うのは違うのではないか。スキューバダイビングと同じで「趣味」なんだから。

……という流れで、寄託部はミッション007までを終えており、14本の新品未開封ゲームをNDLに寄贈済である。今後も順次、寄贈を行う予定だ。趣味なので、心のスイッチが入ったときに次のミッションを始めるというのが現状の運用だ。

寄託部の活動中に経験した事項だが、例えば、エニックス（現、スクウェア・エニックス）が1985年11月29日に移植版として発売したファミリーコンピュータソフト「ポートピア連続殺人事件」は、中古では800円前後で取引されていたものの、新品未開封では20万円以上のプレミア価格で取引されていた。納本制度がパッケージ系電子出版物を納本対象にした2000年より前のゲームは収蔵の本数が少ない現状であるところ、「新品未開封」という制約条件が付いた現状の運用の場合、この新品未開封の「プレミア化」は正直しんどい。プレミアが付く前に、つまりまだ弾数が多いうちに、NDLに寄贈してしまうようにしないと。もちろん制度的には、開封済みも受入可能なように、NDL側の運用を変更して頂けるように動く、という筋もある。ただそちらは一介の個人事業主に過ぎない私の手には負えない。少なくとも単独では。

次に、「NDLでゲームがプレイできる」というお話を少し。

現在、図書館資料であるゲームをNDL館内に設置したゲーム機本体（実機）でプレイすることが、試験的に可能になっている。

NDLの回答によれば、利用は許可制であり、公用又は学術上の調査研究目的に限られる。また、現状では、プレイステーション1～3のゲームソフトのみプレイ可能となっている。一方、同回答によると、NDLが現在所有するゲーム機本体は以下の通りである。

「ニンテンドー DS」「ゲームボーイ ADVANCE」
「ゲームボーイ COLOR」「ニンテンドー 64」「ニンテンドー GAME CUBE」
「ニンテンドー 3DS」「ニンテンドー Wii」「Wii U」「ニンテンドースイッチ」
「プレイステーション2」「プレイステーションポ-

ダブル」「プレイステーション3」「プレイステーション4」「プレイステーションVita」「Xbox」「Xbox 360」
「Xbox One S」「Xbox Series X」「Dreamcast」
「WonderSwan Color」「3DOインタラクティブマルチプレーヤー」

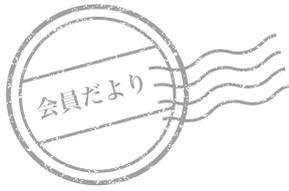
以上のように、NDLは現在、多くのゲーム機本体を所有している。ただし市場で流通したすべてのゲーム機本体を所有しているわけではなく、例えば「ファミリーコンピュータ」「スーパーファミコン」「PCエンジン」「メガドライブ」「セガサターン」「NEOGEO」などのゲーム機本体を、NDLは現在所有していない。アニメ「異世界おじさん」に出てくるおじさんや、私などが大好きなセガサターンはまだ無い。そして、寄託部によるセガサターンの寄贈はNDL側で辞退となった。辞退の理由は、「製造が古いゲーム機ほど維持管理は困難と考えられること」「所蔵するソフトの数もごく少数にとどまっており、直近に活用できる見込みがないこと」の2つだった。

そして、NDLが所有するゲーム機本体のうちの一部、すなわちプレイステーション1～3用のゲームソフトのみが、館内実機プレイ可能となっている。

2022年9月13日にNDLにて、「パラッパラッパー（PS one books）」「ガンサバイバー 2 バイオハザードコード：ペロニカウイズガンコン2」「ドラゴンクエスト5 天空の花嫁」の3タイトルの図書館資料を、調査研究目的でプレイしたが、実際に館内プレイが可能だった。

NDL館内は、皆本を読んでいたりするので静かだ。その中でバイオハザードは乙なもので、ちょっと怖かった。NDLの透明な窓をゾンビがバリと割って押し入ってくるのではないかと、という妄想もしながらのプレイだった。

銃の形をしたコントローラであるガンコンは提供が無かった。接続不可なのだそう。絵的に想像すると、周辺機器も接続OKとする場合のNDL館内プレイはかなり来るものがある。太鼓の達人のタココンとか、ダンスダンスレボリューションのマットとか。NDL館内で踊ろうとするのはさすがに大人としてどうかと思うが。残念ながら精神年齢が小学5年で止まっているので……。皆様の精神年齢は何歳ぐらいですか？



～ 植物礼賛 ～

高橋 郁江 (南甲弁理士クラブ)

二十代の頃は、植物に興味など一切なかった私だが、コロナ禍により自宅で仕事をする機会が増えたことから、家での楽しみにと植物を置くようになると、その日々の成長が楽しみとなり、癒しとなっている。

はじめに購入したのは、小さな鉢の小さな薔薇だったかと。狭いキッチンの窓から朝日が差し込むと共に、花びらと葉に程よく光があたって、見事に発色する。

そのあとは、大きめの観葉植物だったかと。しかし、初心者の私、今は枯れてしまってそれらは跡形もない。

その後も、何度か購入しては失敗してきたが、とある鉢植えの二つの花は、二度も咲いてくれた。

ひとつは、青いバラで有名なサントリー株式会社(現：サントリーフラワーズ株式会社)が生産したという「サフィニアアート」シリーズの「ももいろハート」というピンクの朝顔のような花。花弁の中にハートが描かれるという可愛さ！これは、生花店一押し逸品で、午前中に仕入れたにも拘わらず、その日の昼には私が最後の鉢を購入することで売り切れとなった。

もう一つは、小さな赤紫のゼラニウムである。レモンのような爽やかな香りがした。

こちらはお手頃価格。



<ゼラニウム>

せっかく復活してくれたのに、うっかり長雨にさらしてしまった時期があり、枯らしてしまった。非常に残念である。

しかし、同時期に購入した「ストロベリーミント」というハーブは、葉が青々として、たっぷりとあり、夏には白い綿のような花まで咲かせ、その後も我が家に住みついてくれている。いまの姿は、緑の葉部分と茶の枝葉部分と半々であるが、枯れた葉を少し切っただけでも、甘いイチゴとミントの香りが広がる。庭でその匂いを嗅いだだけで、ちょっと幸せな気分になる。11月になっても、小さいが新しいミントの葉が、また土からいくつか顔を出しているのが見える。この種のもは、生命力が強いのかも知れない。

夏の間、本当にたくさんの葉をつけてくれたので、手のひら一杯に葉を摘み、レモンの輪切りとハチミツと共に氷水にどさっと入れて、涼をとったこともある。昼はこの氷水、夜は下手だが自家製の梅酒で、夏を楽しんだ。もちろん冷房の効いた部屋で、である。来年の夏も楽しみにしている。



<ももいろハート>



<購入時のミント>



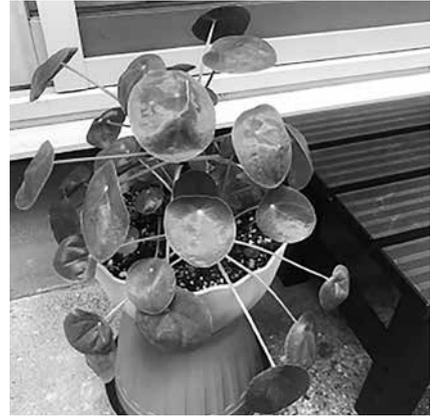
<白い花を咲かせたミント>

実は、今年一番の成長を遂げたのは、年始に友人から誕生日祝いとして頂いた鉢植えの観葉植物である。名前は「ピレア・ペペロミオイデス」というらしい。舌を噛みそうだが、なんとも、可愛い。

我が家にお迎えしたときは、コロんと丸くて小さな手のひらサイズだったが、みるみる成長し、いまでは両手で抱えるほどの大きな鉢にわさわさと揺れている。



<頂いた時の観葉植物>



<えらいことになった観葉植物>

葉自体が円を描いたかのように丸く、葉先が緩くカーブしており、この丸みを見るたびにホッコリした気持ちになる。

このように、植物たちは、私の日常にすでに欠かせないアイテムとして存在しているわけだが、戸外には、当たり前だが、もっとよく手入れの行き届いた植物たちが多く存在する。

●近所の植物たち

自宅近くの小学校では、子供たちがいない夏休みの間でも、濃紫色の朝顔たちが金網のネットフェンスから、時間になると示し合わせたように顔を出す。まだ気温がそこまで上がらない朝の時間帯に爽やかさを分けてくれる。

また、近所の地藏さん(子育て地藏)の近くには、ぎっしりと植えられた日日草がある。こちらはソフトな色合いで組み合わせられており、それもまた、出勤時の目を楽しませてくれる。



<小学校のネットフェンスに咲いた朝顔>



<小学校のネットフェンスに咲いた朝顔>



<日日草>

●都内の植物

暖かくなると、都内でも、無数の花たちが沿道を自身の色で彩る。コンクリートで固められた都会のビル群、高層マンションの合間にも、強く咲いて力をくれる。



<4月 神田川沿いの桜>



<6月 新宿のアジサイ>

●旅先で

海でも山でも、とにかくできるだけ自然の中にいることを望むため、時間があるときは近距離の海や山、高原などに向かうことがある。そこには、都内では見ることのできない、貴重な植物にも出会える。

今年の夏は、前知識なしで志賀高原に向かったところ、高原一面に咲くニッコウキスゲの海にでた。ひんやりと澄み切った空気の中に、ラッパ型の色鮮やかな山吹色の花が、緑のなかにいくつも浮かんでいた。

他にも、色鮮やかな花たちがいくつも自生していた。



<ニッコウキスゲ>



<アザミに停まるアサギマダラ>



<ナツギキョウ>

●新宿御苑

私の勤務先の目の前には、「新宿御苑」がある。こちらとも言わずと知れた「植物天国」である。明治39年に皇室の庭園として造られただけあって、都内のほぼ中心に在ることを忘れそうになるくらい広大な緑地である。様々な植物たちがここかしこに植えられている。

季節ごとに庭の装いも変わるため、「みどころマッ

プ」は、年に6枚発行される（四季の他、初夏版と晩秋版がある）。

この原稿を書いている11月はちょうど菊花壇展を催しているが、春には、桜、ツツジ、ハナミズキ、夏にはバラ、アジサイ、百日紅、秋にはプラタナス並木、イチョウ、冬には、スイセン、福寿草、梅等々、年間を通して、全く飽きることがない。



<菊花壇展の様子>

●植物愛は続く

以上、私が植物に惹かれていることについて、つらつらと書いてみたが、まだまだ知識は浅い。

最近放送されたNHKスペシャル「超・進化論」では、植物同士で会話をするという研究が紹介されていた。

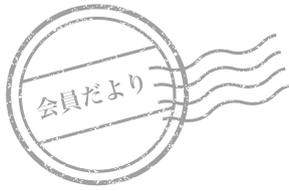
近い将来、人と植物がコミュニケーションを取る日が来るかもしれない。花も人も同じ、それぞれに素晴らしい魅力がある。互いの長所を称えあいながら、平和に共生していきたい。

植物は、当たりまえのように傍らにある存在であるが、知っているつもりにならないよう、その世界を楽しみながら覚えていけたらと思う。

これから、私の苦手な寒い冬がやってくるが、窓越しのシクラメンの親子を愛でながら、お茶（お酒?!）の時間を楽しみつつ乗り越えたいと思う。



<最近購入したシクラメンの親子>



初めての一人暮らし

間瀬 武志 (南甲弁理士クラブ)

1. はじめに

私は、名古屋市の特許事務所で勤務している44歳の男であり、昨年の2月末までは、名古屋市内に妻と長女と次女の家族4人で住んでいた。しかしながら、昨年の3月からは長女の中学進学に伴い、妻と長女と次女は関西地方に引っ越し、私は名古屋で一人暮らしとなった。

私は大学を卒業するまでは実家暮らし、その後の企業勤務時代は社員寮暮らし、そして妻と結婚したため、本格的な一人暮らしは44歳にして初めてである。

2. 一人暮らしのきっかけ

私が私立中学に通っていたこともあり、子供たちにも私立中学への進学を勧めるべく、長女は小学生のときに塾に通っていた。塾に通い始めてしばらくの間は、愛知県の私立中学を受験し進学するものとも私も妻も当然に考えていた。

しかし、6年生になったある日、長女が私に、「関西にある〇〇中学も受験していい?」と言ってきた。どうやら、塾内で開催された〇〇中学の学校説明会に参加してとても魅力を感じたようだ。

びっくりはしたが、私が大阪府出身であることもあり、家族会議の結果、長女の気持ちを尊重してOKした。

この時、私は一人暮らしをするつもりは全く無かった。というのも、私の実家が大阪なので、長女だけ実家に住まわしてもらう予定で、私の両親にも許可を取っており、〇〇中学に進学する場合には私の両親の実家に長女一人が住むということを進学の条件としたからだ。

しかしながら、その当時から流行し出した新型コ

ロナ感染症は、あっという間に大流行し、一日1000人から2000人ほどの感染者が出ていた。当時は1000人から2000人ほどの感染者数でも大騒ぎであった。私の両親も高齢になってきており、万が一にでも長女が学校生活を送る中で感染して私の両親に移すといけないので、入試の2か月前ぐらいには、関西の学校に進学する場合には妻と長女と次女の三人で引っ越すことに予定変更になった。これが、一人暮らしをすることになったきっかけである。

3. ダブルで引っ越し

昨年1月中旬に、長女の希望する〇〇中学への合格が決まった。愛知県の中学も受験していたが、〇〇中学への進学を希望していたので、長女の意思を尊重し、学校が始まる4月までには、妻と長女と次女は関西へ引っ越すことになった。また、当時家族で住んでいた住居は私一人では広すぎるため、私も一人暮らし用の住居へ引っ越すことになった。3月は、引っ越し業者にとって一番の繁忙期である。3月中旬～下旬の引っ越しは、引っ越し業者に見積もりを取って見たが驚くほどに高額であり、ディスカウントも殆どなかったため諦めて、3月上旬の引っ越しを目標にスケジュールを組むことになった。また、1月から3月末までは特許事務所にとっても比較的忙しい時期であり、家族の引っ越し準備と、私の引っ越し準備とを並行して進めることはとても大変だった。ただ、引っ越しの際に、不要な物を大分と処分できたので、物が整理できたというメリットもあった。

4. 一人暮らし開始

3月上旬には家族と私の引っ越しが共に完了し、初めての一人暮らし生活が始まった。一人暮らしを

始めてしばらくは、インテリアにこだわったオシャレ空間に部屋を改造しようと、雑誌やインターネットでレイアウトなどを考えていたが、結局、面倒臭くなっていつの間にか引っ越した当初とあまりかわらず、つまり、段ボールが積まれた状態の部屋に現在もなっている。

一人暮らしを始めた感想は、「もの凄く寂しい」である。今までは、帰宅すると家族がいて、会話をしたり、子供同士が喋ったり喧嘩したりと賑やかであったが、一人暮らしの場合には帰宅しても当然「シーン」としている。誰とも会話することなく帰宅後の時間を過ごすことも多い。

また、一人暮らしを始めた2021年3月ごろからしばらくの間は、新型コロナウイルス感染症が流行していたこともあり、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が絶え間なく出されており、これに伴い飲食店も長らくの間、時短営業を余儀なくされていた。なので、居酒屋などの賑やかな場所にくり出して寂しさを紛らわすこともできなかった。

一方で、最近では、インターネットで映像付きの電話ができるツールがとても充実しており、平日の帰宅後や週末に、妻や子供たちと顔を見ながらの会話を楽しむこともできる。私が学生だった頃は、まだようやく携帯電話が普及し始めた頃であったので、技術の進歩に感謝だ。

一人暮らしを開始した直後は、節約と健康の為に自炊を心掛けていた。料理をすることは得意ではないが苦ではなく、手の込んだ料理はできないが、インターネット上に掲載されている料理方法を参考にしながら作っては、妻に自分の作った料理写真をメールしていた。

5. 現在

適度に週末や平日帰宅後に、家族とテレビ電話をしつつ、三連休などの比較的まとまった休暇時には、家族が住む関西に帰ることにしている。大体1か月～2か月程度に一回は家族と一緒に過ごすことができ、家族との時間を楽しんでいる。



～家族で奈良東大寺～

また、今年の夏には、長女が夏休みを利用して名古屋に一週間ほど遊びにきた。名古屋に遊びに来た期間、長女はもっぱら小学生の時の友達と遊んで暮らしたが、私が所属する南甲弁理士クラブ東海支部のオンラインイベントにも一緒に参加することができ、とても良い思い出になった。



～名古屋に遊びにきた長女（右）～

また、最近では、飲食店の時短営業も無くなり、平日はちょくちょくお酒を飲み、以前によく通っていた飲食店にくり出すようになった。家に帰っても誰もいないので、ついつい深夜まで飲んでしまう。翌日に猛省するのだが、ついつい繰り返してしまう。

一人暮らしを開始して一年半程度経過した現在は、寂しさはあるものの、大分と一人暮らし生活に慣れてきた。

なお、一人暮らしを開始した直後にしていた自炊は、平日は殆どしなくなり、週末にたまにする程度になってしまった。

6. 私の一人暮らし必須アイテム

最後に、一人暮らしを始めて1年半ほど経過した私の必須アイテムを以下に紹介する。

(1) Zoom, Lineアプリ

言わずと知れた映像付きの電話ツールである。これらツールを利用することで、リアルタイムで家族の顔を見ながら会話ができる。また、ノート機能を使うことで、子供たちと遊んだりもできる。家族と離れて暮らす私には必須のアイテムである。

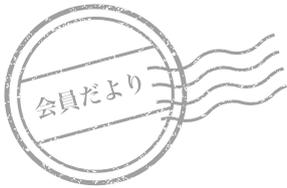
(2) Amazonプライムビデオ

定額料金で対象の映画・ドラマ・アニメなどが見放題になる動画配信サービスである。私は、アナロ

グテレビ放送が終了した2011年7月以降、地上デジタル放送対応のテレビに買い替えなかったため、テレビを持っていない。なので、このAmazonプライムビデオで、映画・ドラマ・アニメなどを楽しんでいる。デメリットは、一度、視聴し始めると時間を忘れてずっと見てしまう点である。特に、海外ドラマはシーズン7,8…といった具合にかなりの数のエピソードがあるので、一度視聴し始めると続きが気になって見るのをやめられない。

(3) dアニメストア

定額料金でアニメを見放題の動画配信サービスである。名称のごとく、アニメに特化したサービスであり、見放題のアニメが充実しているので重宝している。これについても、一度視聴し始めると続きが気になって見るのをやめられない。



和太鼓と私

穂坂道子 (PA会)

1. 和太鼓と私のはじまり

私は、リズムを刻むのが好きだ。それが、手で机をタンタンタタンと叩くのであっても、箸で皿をチンチチーンとたたくのであってもかまわない。子供の頃から、自分はこれが楽しい、ということを知っていた。しかしなぜか、リズムを刻むことに本気で取り組んでこなかった。学生時代、サークル活動で様々な楽器にたずさわってきたが、リズム中心の楽器は選んでこなかった。しかし、心の底の方で、いつか、リズムを刻むことをとことんやってみたい、と思っていた。

そして、弁理士試験に合格し、子育ても一区切りついたとき、思い切りリズムを刻みたいという気持ち、むくむくとわいてきた。

そのための手段をインターネットで調べたところ、青山に、和太鼓専門のスクールがあることがわかった。平日、休日、昼、夜、いろいろなクラスがあって、定期的に通うことができる。これだ！そう思ってすぐに土曜日の昼のクラスを申し込んだ。それが2008年10月11日。以来ずっとこのスクールに通い続け、気づいたら14年経っている。

そこで、この場を借りて、私が楽しんでいる和太鼓を紹介しようと思う。

2. クラス

スクールは、現在はコロナ感染蔓延の影響で変則的な状況であるものの、次のとおりにクラス構成されている。

(1) 基本クラス

全ての受講生は基本クラスに通う。基本クラスは、初級、普通級、中級、上級、とレベル分けがさ

れている。受講生は、曜日と時間と講師でクラスを選び、一カ月に数回、同じ顔触れの受講生が定期的にレッスンを受ける。

(2) 専科クラス

大太鼓、小倉祇園太鼓（スクールでは「九州の横打ち」と呼んでいる）、屋台囃子、エイサーといったユニークな打法を専門にするクラスである。このクラスは、基本クラスと並行して通うことができる。基本クラスで学ぶ技術をさらに高めたい、あるいは単にそのような打法をやってみたいという理由でオプションで受講する。

私は現在、3つのクラスを受講し、一カ月に合計4回、平日の夜や土日を使ってレッスンに通っている。

3. レッスンと発表会

スクールでは年に2回発表会を開催しており、日頃のレッスンは、発表会で発表する曲をマスターすることを軸に、太鼓を打つことの基本を学んでいく。発表会の曲は、主に講師が作曲したものである。スクールには数十名の講師がおり、講師が作曲した曲を集めるとかなりの数になる。一つの発表会が終わると、講師と受講生とで次の発表会で演奏する曲を選び、次の発表会を目指してまた半年間練習する。ときおり、三宅太鼓、屋台囃子、といった伝統曲も選ばれ、そんなときは専科クラスで学んだ打法が活きる。

発表会の演奏曲をマスターする過程で、太鼓を打つことの基本を学ぶのであるが、レッスンを始めた頃、年二回発表会をやることの意義がわからなかった。リズムを刻みたいだけなのだから、太鼓を打たせてくれればそれでよいのにと思っていた。しかし長年続けた結果、発表会と基本練習を繰り返すとい

うのは、正しいやり方だと感じている。

発表会で皆の前で演奏する機会を得て初めて、太鼓は何かを表現するための楽器であるということを実感する。そして表現するためには、リズムに沿って出したい音を奏でるためのスキルが必要になる。太鼓の基本練習はそのためにある。表現するという最終目標を知って初めて、日頃の基本練習の指導に本気で従おうという気持ちになる。

発表会で、舞台上で演奏している仲間の動作を見ると、その人が基本をどこまで掴んでいるかがわかってしまう。私が舞台上で演奏する場合もしかりである。だから発表会の際は、いつでも、私を見て下さいという気持ちよりも私を見ないで下さいという気持ちの方が大きい。

4. 講師

私は、クラスの講師であるK先生を敬愛している。K先生は、温かくてちょっとわがままで、関西人特有のギャグ連発の京都生まれの女性であるが、太鼓のことになると人格が変わる。できない生徒がいたら、その一人をクラスのメンバーの面前でしごいたりする。私は先生のしごきに比べられない情けなさから、レッスン中に泣いたことがある。そのときは、先生が少しひるんだのを感じた。

そしてK先生のスキルは非の打ち所がない。曲の大切な箇所について、レッスン中に見本演奏を披露していただき、それを動画にとって各自が復習するのだが、K先生の演奏動画は細かい箇所も完璧で、繰り返し見て、先生が口頭で仰っていなかった新たなポイントを発見したりする。

実は、そのK先生に一度ほめられたことがある。ひとつのリズムを軸に、音の強弱の場所を入れ替えたり、クラスのメンバーで音の追いかっこをしたりして練習していたとき、先生が「みっちゃん、リズムええなあ、ピツッたり合うとる」とつぶやいた。私は天にも昇る気持ちであった。おそらく先生は覚えておられないつぶやきであろうが、私はそのときの先生の言葉を頼りに、自信を失わずにいらることができている。

5. 仲間

クラスの仲間、これがまたユニークな面々である。30歳から70歳の様々な職業の10名あまりの女性。世の中には太鼓を打つことをとても楽しいと感じる人間がわりといるのである。この長い期間にメンバーの小さな出入りはあったが、同じような雰囲気の方が集まる。レッスン後のランチでは、「私は今日あの箇所ができなかった、どうすればできるだろう」とか、「K先生ってなぜあんなに上手なんだろう」とか、太鼓のハナシで盛り上がる。夏に、皆で半そでの服でランチをしたとき、仲間の腕を見て気づいた。皆一様に、二の腕が、モリモリの力こぶといわゆる「振りそで肉」の脂肪（悲しいことにコレは減らない）とで、立派な状態になっている。「ねえ、ちょっと見て、みんなの腕、すごい」と言い、改めてそのことに気づいて皆で大笑いした。

発表会での演奏は、個人演技ではなく、クラスのメンバーで気持ちを一つにして奏でるアンサンブルである。メンバーで奏でる、というのもまた太鼓の大きな楽しみである。これまで何度も気持ちを一つにしてきた仲間達。生涯の友になるであろうと思っている。

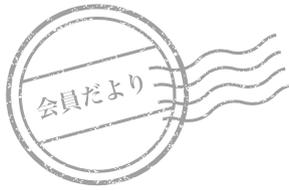
6. 和太鼓と私のこれから

リズムを刻むことは和太鼓のほんの一部の要素にすぎない、ということには早いうちに気づいた。

和太鼓は表現するための楽器であって、頭の前から足先まで、身体の全部を柔らかく使って音を奏でることが理想である。自分の身体をどのように使えばそれができるかを知り、実行する必要がある。ところが私の身体はどこもかしこもコッチコチに硬い。かっこよく美しく演奏して、良い音を出したいけれど、自分の演奏動画を見ると、あまりのかっこ悪さに落ち込んでしまう。

しかし、リズムを刻むことが含まれている限り、太鼓を打つことはいつでも無条件に楽しい。最近はリズムを刻むこと以外の元来不得手であった事項も楽しく感じるようになってきた。

和太鼓はまだ私を楽しませてくれそうである。



3年ぶり開催！パテント杯！！

川井 洋 一 郎 (PA会)

はじめに

今年は、コロナ感染症拡大によって中止されていたパテント杯争奪野球大会（通称、パテント杯）が3年ぶりに開催されました。

パテント杯は、特許庁、事務所、各会派などによって結成されたチームが参加する、特許庁主催の野球大会です。会場は、サンケイスポーツセンターの江戸川河川敷グラウンドで、7月～9月の毎週土曜日に行われるとても暑い大会です。

学生時代に野球をされていた方も、そうでない方も参加されるので、肩肘張らずに楽しめる野球大会だと思います。

練習不足、体力不足

PA会では、4月頃から都内のグラウンド（主に、芝公園野球場、浮間公園野球場など）で月1、2回程度の練習会を行っています。1回の練習時間は、グラウンドの都合上、2時間と決まっています。

20代ならまだしも、30代半ばとなるとこの程度の練習で全く足りません。年初めての練習では、キャッチボールも手につかないほど、体の鈍りを感じます。

また、コロナ禍で始まった在宅ワークも体力低下を促進しています。

でも、野球というスポーツは、勿論、体力、筋力ともに充実していた方が良いのは間違いないですが、それだけでは、上手、下手が決まらないものだと感じています。実際、体は動かないですが、年々、上手くなっている側面もあります。私は、頭で理解せずに複雑な動作を行うのが苦手ですが、PA会野球部に入部して以降、頭で理解してから身に着けた野球の動作が多くあります。

バッティング

バッティングの動作で一番気を付けていることは、「後ろを大きく、前を小さく」です。

これは、阪神タイガース時代の城島健司選手が、バッティングで一番気を付けていることの質問に対する回答です。良いバッター、結果が出ているバッターは、みんな後ろが大きいと。王さんとバリー・ボンズの後はめっちゃめっちゃ大きいと。王さんの言う最短距離は、これ以上バットが遠回りすると捌けなくなるから、イメージは最短距離だと。

少年野球では、バットを耳元から最短距離で上から出す（所謂、ダウンスイング）とよく教えられると思います。私もそう教えてもらいましたが、小学校の学年が上がるにつれて打てなくなっていったのを覚えています。最短距離って何だろうと何年も悩んでいました。

後ろを大きくするための動作は主に二つあると思います。

一つ目は、トップを深くすること、トップをよりピッチャーより遠いところに持つことです。

二つ目は、予備動作を行うこと。予備動作には、バットを持った手を下げるヒッチと、バットを体の正面方向に寝かせるコックの二つがあります。私は、ヒッチを取り入れることにしました。打撃の神様、川上哲治さんをイメージしています。

バッティングの動作で二番目に気を付けていることは、「割れ」です。

割れとは、スイング時におけるトップの位置（ピッチャー側の脚が着地した瞬間）での上半身と下半身の間にできる「ねじれ」のことです。私は、深いトップを作ることで自然と割れを作れるようになりました。

割れを作った後は、バットのヘッドを落とすイメージでスイングします。前述の最短距離は、バットが遠回りしていると感じたときに少しだけ意識する程度です。ダウンスイングについては何も意識していませんが、トップから落ちていくバットのヘッドがミートゾーンではレベルスイングになるように意識しています。



第55回パテント杯（平成30年）にて左越本塁打を放つ

ゴロ捕球

PA会では、主にサード、ショートを守っています。軟式野球では、サード、ショートにゴロがよく飛んできます。

ゴロ捕球の動作で一番気を付けていることは、「右足でタメを作る」ことです。

ゴロも行き当たりばったりでは上手く捕球することができません。捕ると決めたところに、右足でタメを作ってから正面に入ることによって間が取れ、捕球できる確率を上げてくれます。右足で捕球のトップを作るイメージですが、バッティングのトップを作るイメージに似ています。守備が上手くなると、バッティングもよくなるのはこのことかもしれないと気づきました。気づくのが30年遅かったと思います。

次に、気を付けていることは、「むやみやたら前に出ない」ことです。

特に、サードは前には出てはいけないことを、YouTubeのトクさんTVを見て最近知りました。トクさんTVでは、サードは、結局、そこそこ強い打球が来るから、前に出るとボールと衝突してしまい、間が作れない、サードで前に出るのは、跳ねたときだけと、宮本慎也さんが指導していました。

ショートも深く守るときは打つ瞬間に前に出てもいいと思いますが、前で守って前に出ていくと間を作れないときがあると感じます。ソフトボール女子のショートの選手は、前に出る意識よりも左右のスタートを意識していると、雑誌で読んだことがあります。前で守るソフトボールの選手ならではの意識だと思います。

何でもかんでも前に出ればいいと思わなくなり、内野の守備が楽になりました。

ピッチング

PA会では、主に中継ぎをしています。ピッチングも動作を覚えてといきたいところですが、これはイメージだけではどうにもなりません。年々、肩も肘も上がらなくなっていきます。脚の筋力不足と、股関節の固さも感じます。自分のイメージとかけ離れて体が動いているのが分かります。来年は、イメージと実際の動作の差を無くしたいと思います。それには、まずランニングだ！！

やっぱり体力勝負

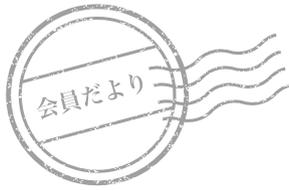
パテント杯も、3回戦以降となるとやはり体力勝負だと痛感します。毎週土曜日のみが試合のパテント杯でも、この運動量と練習量では、脚腰が思うように動かなくなります。脚で踏ん張れなくなると、バッティングでトップに入る際に体がバラバラになる感じがします。もう、割れがとかそんなイメージも無くなってしまいます。

ピッチングも脚で粘れなくなると肩がとか、肘がとかの問題でなくなります。「ピッチャーは走るのが仕事、腕も振って走ることができれば、投げることもできる」って、何かで聞いたことがあります。まさにその通りだと思いました。今年の秋は、ボールのない公園で、ポール&ポール（要するに、100mくらいのダッシュ）に挑戦したいと思います。

今年の総括

今年のPA会の成績は3位でしたが、3年ぶりのパテント杯にも拘らず、以前からPA会野球に参加していた多くのメンバーが集まったのも嬉しいことでした。新しいメンバーも加わり、来年は2位以上を目指したいですが、仕事も事務所も離れてパテント杯を交流する機会とするのも大事だと感じます。勝利至上主義はほどほどに、全員野球で勝ち進めればと思います。





二輪車、四輪車

須藤雄一（無名会）

自転車

二輪車の最初は自転車である。

自転車の修理を行っていた小さな店があった。その店は小銭程度での自転車の時間貸しを行っていた。貸し自転車屋を耳にし、小銭を握って自転車を借りに行った。

借りることはできたが、うまく乗ることはできなかった。まだそれほど交通量が多くは無い一般道をよくよると走り或は押しながら動かした。川沿いの土手に出て乗った。よろよろ走行は続き、こけながら、それでも返すころには何とか乗れるようになった。その後も何度か通った。自転車に乗るのが実に楽しく時間はすぐに来た。毎回返すのが惜しく、しぶしぶと戻ったのが懐かしい。

小学生のころである。

中学生になると買ってもらうことができた。スポーツタイプ、ハンドルはドロップハンドルで多段ギヤだった。飛び上がるほどうれしかった。

この自転車で遠出もした。中学校まで自転車で通学もした。とにかくうれしく、毎日乗った。

学校までの道のりに坂道があった。行はのぼりで帰りは下りである。行は多段を駆使し、息を切らせて登り切った。帰りは気持ちよく下った。風を切る下りは気持ちが良かった。

高校にも時々自転車で通学した。片道小1時間であったかと思う。学校が自転車通学を認めるか否かなどは頓着しなかった。学校に自転車置き場があったので何も言わずに利用した。特に何かを言われた記憶はなかった。

自動二輪車

16歳になったときに自動二輪の免許を取った。

同級生で先に16歳になったヤツがいた。「試験場に直接行って二輪の免許の試験を受け、一発で受かった」等と話しているのを聞いた。16歳になったときにすぐに試験場に行った。かなり厳しいと聞いていた。案の定一度目は落ちた。一時停止の標識を見落とした。一部が小枝に隠れている標識だった。試験場でこんな標識があるのかと憤った。二度目は注意し、合格した。自動二輪の免許であったが当時は普通、大型の区別が無く、試験用実車は125ccぐらいのバイクであった。割と扱いやすく、走行自体は簡単だった。16歳になってすぐに試験場に行き、なぜバイクで走行する試験を受けることができたのかあまり記憶が無い。それまでの自転車が生きたと言っておく。それ以上は……だ。記憶が乏しい。

免許取得後に乗っていたのはホンダのCB250、勿論安物の中古だ。近所の店先に展示してあった。一目ぼれだ。アルバイトでためた金額で手が届くものであったので手に入れた。手に入れたのは何故か免許取得前だった。詳細は記憶にないが、手に入れることができた。今思うと不思議である。そのとき家まではバイクのハンドルを握り押しながら帰ったことを記憶している。

免許取得まではもっぱらエンジンをかけ、その場でアクセルをふかして楽しんだ。近所のおっさんに「うるさい」と扉越しに怒鳴られ、直ぐに止めた。本人には心地よくてもはたからすると結構にうるさいものだったようだ。今思うと相当に迷惑をかけ申し訳なかったと反省している。

こうして免許が手に入ったときは既にCB250が手元にあった。中古のCB250は相当に手が入れられていた。レーサータイプのシートに若干ハの字の一文手ハンドルであった。車体は主要部が緑に塗装され

ていた。エンジンは調子が良く、全体的に恰好が良いと感じていた。250ccでもその時は相当にでかい二輪車だと思った。

手に入れたヘルメット、皮手袋、半長靴を身につけ、通学時は学生服、それ以外は普段着のままで行った。今考えると相当に危険な様相だ。

高校へのバイク通学は、自転車同様に学校が認めるか否かは頓着せず、自転車置き場を自転車の時と同じように何も言わずに利用した。このときも何かを言われた記憶はなく、のんきな時代であった。暴走族などもまだ出現しておらず、割と寛容だったのかなと感じる。

自転車で片道1時間であったから、バイクでは短時間で通学できた。雨の日もバイク通学をしたが特に気にならなかった。ただヘルメットにゴーグルを付けて走行していたので前の車が停車しているのに気付くのが遅れ、ブレーキを掛けたが僅かに追突した。運転者が降りてきて何やら文句を言っていたが、ひたすら謝ったら許してもらえた。バイクの前輪がバンパーに追突し、ショックはある程度あったがほとんど凹みがなかったことも幸いした。

あるときは、前方に右ウインカーを出してノロノロ運転をしている車があった。その左側を走り抜けるようとしてアクセルをふかした。車の側面をすり抜けようとするその時に何故か急に左に寄ってきた。そのまま車の左側面に衝突し、走行しながら左側に倒れ込んだ。アツと思う間もなくバイクが体の上になった。道路の左側の乾いたコンクリートの側溝に体が入り込み、その上にバイクがかぶさってきた。けが一つなかったのが幸いだった。そのまま動けずにいると近くで工事をしていた人がバイクを起こしてくれた。ウインカーのだまし討ちをした前の車は一旦停車したがそのまま逃げた。前の車の側面に衝突したのでバイクのダメージは少なく、そのままバイクを走らせて学校へ行った。苦い記憶だ。

CB250は、そこそこ満足していたが、ホンダではナナハン（CB750）、川崎ではダブワン（カワサキW1）があった。海外には1000ccを超えるハーレーやインディアンもあった。相当にあこがれた。近所

の人がダブワンを新車で手に入れ、休日ごとに磨いていた。でかく、ぴかぴかで、眺めているだけでもわくわくした。

割と親しい人であったため、ある日ダメもとで1日貸してほしいと頼んだ。なんと、すんなり貸してくれた。学校までダブワンを運転した。中古バイクとはサスペンションの感じが全く違い、ちょっとしたところを乗り上げ通過しても「スーパー」と衝撃を吸収した。難なく走行ができ、気持ちが良いすぎた。

四輪車

四輪の免許は、大学生のときに取得した。

スマホ等もなく、周りでは四輪の免許を取るのが普通であった。同級生にはイエローのベレGに乗って通学する奴がいた。フェアレディ sr311に乗っている奴もいた。とにかく恰好がいい。羨望のまなざしで見ている。117クーペやモーガン車の話をする奴もいた。240Zもあり、2000GTもありで、とにかく興味は尽きなかった。

四輪の免許を取得すると、自分も車がほしくなる。自動車雑誌を見ていたらカペラロータリークーペの中古に目が留まった。色はオレンジ。これに決め、現金を手にして祐天寺まで買いに行った。行は電車、帰りは首都高を走って帰った。運転になれている訳ではないのに首都高も初めてだ。すごく緊張しながら帰った。無事でよかった。

ロータリー車は燃費が悪いとされてすたれたが、当時570ccぐらいの2ローターでレシプロエンジンの2000cc程度を上回る性能があった。自分が作った車でもないのに燃費が悪いと言われるのは心外であった。ロータリー車は、とにかく加速性がバツグンであり、エンジンは「ヒューン」とどこまでも回る感じがした。sr311に乗っていた奴に運転させたら心底驚いていた。

この車で幼馴染3人と伊豆の海までドライブした。夜に出かけ、伊豆の海沿いのくねくねアップダウンの道路を走行した。後ろの暗闇から軽自動車が1台追いついてきた。加速性では勝ると思い、アクセルを踏み込み、アクセルワークを駆使して引き離

しにかかった。こちらは4人乗車。とにかく重く、くねくねアップダウン道路のコーナリング走行がきつかった。いつしかコーナーで膨らみ過ぎ、道路から外れた。左側は絶壁、下が海だ。コーナーに沿って路肩スペースが広がっていたので助かった。軽は小気味よく走り抜けていってしまった。

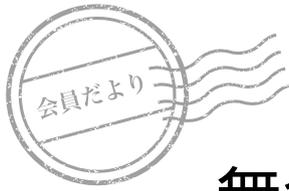
社会人になってからは、数台乗り換えた。ガソリン車であり、直近はディーゼル車である。ディーゼル車は近年性能が驚くほど良い。一方で、電気自動車が推進されている。日本では化石燃料を用いて作る電気を食らう電気自動車が全てを解決するとは今は思えない。

未だガソリン車にこだわる人たちもいる。ガソリン車用の変速機としてドグクラッチを用いたメカ的な自動変速機を作った会社がクライアントにある。ドグクラッチで自動変速機が作れるのかと言われるが、実に簡単な構造であり、回転数が落ちないシームレスなシフトアップができています。驚きだ。同社のホームページに動画がアップされてもいる。この自動変速機は、電気自動車などにも有用らしい。素晴らしい技術だ。

元々はレース用のフォーミュラカーを作る会社ではあった。現在でもフォーミュラカーの設計製造の他、競技用車両専用パーツから、駐車場ロック装置など車に携わる物、建築物その他に関わっている。興味のあるクライアントである。

社長曰く。今のガソリン車が電気自動車にとって代わっても、趣味としてレース用のガソリン車は残り続ける、とのこと。過去には交通手段として馬があり、ガソリン自動車の普及と共に交通手段としての馬の役目は去ったが、競馬は存在し続けているように。

問題は地球温暖化だ。水素を脱炭素で安価に製造、輸送、貯蔵することができ、水素エンジンの開発が進めば等と期待している。それとも常温核融合か。



無名会創立 100 周年について

鈴木 一 永 (無名会)

日本弁理士クラブに所属する無名会は、大正11年1月に創立され、本年1月で創立100年を迎えました。創立の前年には、弁理士法が公布され、現在の日本弁理士会の前身である弁理士会が創設された時期であるとともに、現在の産業財産権法(工業所有権法)の原型となる、いわゆる大正10年法が公布、翌年1月施行されるといった時期でもありました。

この当時の事情が無名会50周年の挨拶に、以下のようなことが語られています。

「当会(無名会)の会員は、官学と私学、又は、法律と技術、あるいは地域的制約など一切受けることなく、志を同じくする弁理士がより集って構成しておりまして、弁理士業を一生の天職として会員は相互に切磋琢磨し、長短相補いその天職を全うすることを理想としてまいりました。当会が設立された大正11年1月といえば、旧法となった特許法等(大正10年法)が施行されたときに当たります。この大正10年法は、当時の世界水準を抜く精緻な特許法といわれました。この特許法等の施行と同時に当会が設立されたことは、この優れた特許法等に精通して工業所有権制度の運営に寄与し、その天職を全うしようとする諸先輩の並々ならぬ熱意と実行力が窺われます。」と書かれています。この無名会50周年当時は、昭和45年の特許法等の改正時期に当たっていました。

また、70周年の記念誌によれば、無名会の「無名」という名の由来を説明している以下のような文章があります。

「曾て先輩が「無名」を選択したとき、あらゆる意味での「名」を排斥する精神によったものでありました。さらに人間の精神の根源で何物にもとられない状態を至上と語り合ったとありました。

我々が歴史を回顧するとき必ずそれだけの年数の未来を展望し把握し未来の歴史を造形する其処に学問があるといわれます。また歴史の先取りがあつて学問の進歩が加速されるとも云われます。

徒然草二二九段に『よき細工は少し鈍き刀を使うといふ。妙観が刀はいたく立たず。』と記されてい

ます。7百年前のことです。

この兼好の批評精神は今吾々に発明の何かを暗示します。何世紀を後に我々は精神の何を残すことがありましようか。」

(故谷山輝雄先生の無名会70周年記念誌巻頭言からの転載)

この無名会70周年の記念誌は、平成3年12月に発見されたもので、以降、平成14年、平成24年と各周年行事行いながら、本年の100周年を迎えました。この無名会100周年の記念行事は、未曾有のコロナ禍であったことから数か月延期され、本年6月27日に当初予定より規模を縮小したもののリアル会場での記念式典・祝賀会を開催することができました。他の事業としては、100周年の記念旅行会の開催と記念誌の発行等が予定されております。無名会では、開催される周年行事を行うに際して、過去の諸先輩方の言葉を調べつつ、これから連綿と続くであろう無名会の将来に思いをはせながら、無名会の次の世代を担う新しい会員の方々にバトンをつないでいきたいと考えています。

日本弁理士クラブ所属の他の4つの会派も今後順次100周年を迎えることになると思います。このように日本弁理士クラブ所属の各会派は、日本弁理士会の会務を下支えするとともに会員相互の情報交換、研修、懇親のためにそれぞれの会派の特徴を持ってそれぞれの会派活動を展開しています。この文章をご覧の弁理士の方で気が向きましたら日弁所属の各会派をご覧いただき気に入った会派に所属してみたいはかがでしょうか?

